

木の形

を見る



ツルウメモドキ

❧ 1本の幹がまっすぐ伸びる木



幹がまっすぐ1本伸びるシラカンパ（シラカバ）

木の形は非常に^{ひじょう}おおざっぱに分けて、^{えだわ}枝分かれする際、^{さい}どちらの枝も同じように太くなって^{みき}幹が何本にもなるものと、1本が太くなってまっすぐ立ち上がり、幹を持つようになるものがあります。

ここには幹が立ち上がるものを集めてみました。

ただし、こういった木も途中で折れたり^{とちゆう}斜めになっ^{なな}たり（ノ）



ドロヤナギの木の形



ケショウヤナギの木の形

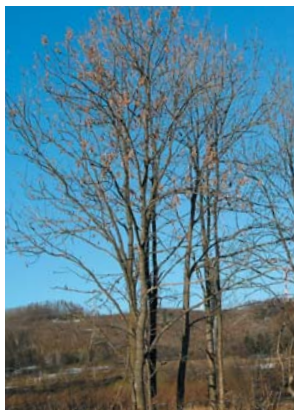
（ノ）たりすることで、幹が分かれていきますし、逆に枝が分かれるような木でも、^{みっせい}密生した林の中では幹が1本立ちすることもあります。

^{ひかくてき}比較的若くて、のびのびと育った時の目安としてください。

ドロヤナギがまっすぐ1本伸びた幹から枝を張り出しているのに対し、ハルニレが何本も幹を立ち上げ、細かい枝ぶりをしていることがわかります（右写真 ▶）



ハルニレ ドロヤナギ



ヤチダモの木の形



ハンノキの木の形

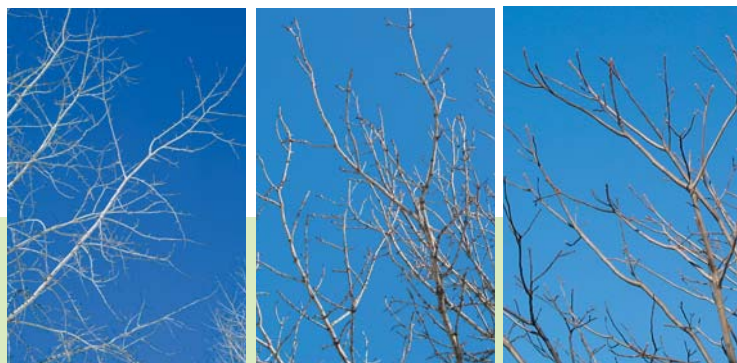


ケヤマハンノキの木の形



タラノキ。枝がない

❖ 枝先の感じ — ゴツいものや細かいもの ❖



ドロヤナギ(左)とヤチダモ(中)とオニグルミ(右)。あまり細かく枝分かれせず、どちらかというとおおざっぱな感じ

木の持つ^{ふんいき}雰囲気は、大まかな木の形と枝ぶり^{えだ}で左右されます。ドロヤナギ(ドロノキ)やヤチダモなどは枝先も太く、ゴツゴツした感じ。

ハルニレなどは先に行くほど細く^{みっせい}密生して細やかな感じ。

多くのヤナギはしなやかに伸びる枝先を持っていて、スマートな感じがします。

あなたはどう感じますか？



ハルニレ(左)とハンノキ(右)枝先になると非常に細く、細くなる



オノエヤナギ(左)とケショウヤナギ(右)ほとんどのヤナギはしなやかな感じの小枝をもつ

❖ そのほかこんな形の木も ❖



チョウセンゴミシはつる性の木。ヤマブドウ、ツルウメモドキなども



ナワシロイチゴは地面をはうように生える



フッキソウは高さ20～30cm。小さいけれど、冬も緑の葉をつける常緑樹

参考文献

「北海道 樹木図鑑」佐藤孝夫 亜理西社 1990
「新版 北海道の樹」辻井達一・梅沢俊・佐藤孝夫 北海道大学図書刊行会 1992

「治水の杜 ガイドブック」北海道開発局帯広開発建設部 2002
「ヤナギ類 その見分け方と使い方」斎藤新一郎 (社)北海道治山協会 2001